

『生前墓=寿陵』

父母が他界し、私達は分家することになりました。

子や孫そしてその子...と、代々栄えて欲しいと頼う分家の初代として、私達夫婦はもちろん、後の代々の人にも安心が得られるよう妻と相談し、墓を造ることにしました。(生前墓=寿陵は、長生きする等縁起が良いとされていたのだ)

本家と同じ寺で、数ヶ所の場所のうち、幅は十分あるが奥行が若干狭いところがありました。本家の墓に近いということもありそこに墓地を決めました。

インターネットを見、あちこの寺や霊園を見て歩き、石屋さんにも行ったり墓について色々言問べてみました。自分でイメージデザインしてみた墓と比べどこと来るものかなかつたり、価格も予算オーバーだったり、仲々決められなっていました。

そんな折、少々遠方ですが知り合いで「石の三ウラ」の社長三浦正志さんに相談に行きました。価格も予算内で、色々な希望も叶えてくれるということだったのでお願いすることになりました。

注文することの多い私達の希望を良く聞き良く説明してくれました。

墓建造の希望は ① 全体の色が黒 ② 形を指定した割師を使う ③ 小さくても堂々としている ④ 時代を経ても新しさを感じるの四つでした。

「石の三ウラ」の社長三浦正志さんは私がデザインした色々のスケッチをそのたびにパソコンで図面にしてくれ、又、実際にその墓が求めた墓地に建てたらどのようなになるかを写真のように現物にしてくれたり、遠く所何回も足を運んでくれたり、良く面倒を見てくれたものだ」と感謝しています。

建造中を見たいという好奇心から見学をさせて頂きました。従業員2人のやり取りが礼儀正しく、仕事もキチンとしており、基礎の杭打から鉄筋の配筋、石の接地・接着等、水平の確認はもちろんですが、一つ一つの工程を丁寧に正確に行っていました。

身になった一般組に使う割り石も、やり直しのまかない。一発勝負の仕事でしたが豊富な知識と渾身のカと技で造って頂き、形も自然で、墓全体にキラリと光るものを与えてもらいました。

良い墓を建造して頂いた「石の三ウラ」・社長の三浦正志さん有難うございました。

神原 和香